

郡山市をたんけんしよう

郡山市には、それぞれの地域に昔のくらしやできごとを、今に伝えるものが残っています。君の学校や家の近くにも郡山の歴史を伝えるものがありますよ。ぜひ、調べてみましょう！



1 開成館（開成三丁目）

開成館は、1874年に建てられた郡山で初めての洋風を取り入れた建物です。当時は区役所として、その後も公共施設として利用されてきました。現在は、安積開拓を後の世に伝える資料館となっています。



2 三代の一里塚（湖南町）

一里塚は、江戸幕府が一里（約4km）ごとに、街道の両側に塚を築いたもので、旅人にとって歩いた距離の目安や、休息所となりました。三代の一里塚は、1667年に会津藩が整備したものです。



3 柳橋の歌舞伎（中田町）

10月中頃、中田町柳橋で行われる伝統芸能です。菅布禰神社の祭りに村人がしばいや歌を楽しんだのが始まりとされ、江戸時代の終わりごろから行われてきました。



4 富岡の唐傘行灯花火（三穂田町）

亀賀森神社の祭りに行われるしかけ花火で、明治時代のはじめ頃から行われてきました。現在10月の第二日曜日に行われています。秋に行われる花火は、収穫祭にみられる火祭りに関係があるようです。



5 郡山市立美術館（安原町）

イギリス美術や日本の近代美術、郡山市出身の芸術家などの作品が展示されています。また、国内外の有名な作品の展示も、年6～7回行われています。

